

アルバイトから学んだ事

ろ組 グェン ティ ミー ハン

私は日本に来て初めてアルバイトをいたしました。アルバイトをして三か月になりました。

給料をもらうだけでなく、いろいろな事が学べました。例えば、日本語をよく使って会話の練習ができるし、日本人の働き方についてもっとわかるようになりました。困ったこともありましたが、いい経験で楽しくて、成長したような気がしました。

最初は、新聞やインターネットでアルバイトを探しました。仕事の内容や給料や時間が便利かどうか考えました。けれども、留学生たちにとって、仕事を探すことはとても大変です。日本へ来たばかりの留学生は漢字がほとんど分からないからです。探し終わったら、次は電話またはメールで連絡しなければなりません。それも難しいことです。電話やメールをするときは敬語を使わなくてはいけません。電話で連絡する時は緊張せずにすらすら

と話して募集の方にいい印象があったほうが  
いいです。そのあともし募集の方があなたに  
面接に来てくださいます、と言ったら履歴書が  
必要です。履歴書は100円ショップで買っ  
たりタイムワークの新聞から切ったり、イン  
ターネットで印刷したりすることもできます。  
そして、面接の事です。日本では面接はな  
くはないものではないです。ぜったいに遅れな  
いで15分ぐらい早く行ったほうがいいです。  
面接の時は、とても心配でも落ち着いた顔を  
しなければならぬし、しつこくに服を着て  
すらすらと面接を受けなければなりません。  
私はうんよく合格しました。けれども、もし  
あなたが面接を失敗してもそれは大丈夫です。  
というのは、その仕事以外にもいろいろな適  
当な仕事があるからくりかえし同じステップ  
をすするときっと成功すると思うからです。  
私はアルバイトを始めて以来、日本人の働  
き方にだんだん慣れました。日本人にとって、  
時間は大切なことです。例えば、私のアルバ

イトの始まる時間は6時なのに、みんないつも5時45分ぐらいにはもういます。それから、働く時にはいつもまじめで一生けんめい働きます。相手を理解することは、職場での生産的な人間関係を築くために大変重要です。特に、自分の仕事をやるだけでなく、自分の仕事が終わったら休憩せずに同僚の仕事も手伝ってあげます。私は知らない人ばかりの中で新しい仕事をすることはとても大変でした。その時、一緒に仕事をしているおばさんたちは仕事について、早くするためのやり方についてなど、全く知らなかった私に何から何までよろこんで忙しいのでもかまわず教えてくれました。そして、おばさんたちは仕事で疲れていても、いつも笑顔です。おばさんは「疲れた時もしあなたが怒った顔をすると、あなただけじゃなくてほかの人をもっと疲れやすい気がするかもしれない。だからいつもにっこり笑うようにしましょう」というアドバイスをしてくれました。私は今、仕

事だけじゃなくて、ほかの事でも疲れたとき  
があったら、すぐその話を思い出します。

アルバイトをやるということはいろいろな  
事に挑戦してやるということです。困った事  
もありましたが、いい経験で楽しくて、成長  
したような気がしました。また、お金の大切  
さもよくわかりました。私は日本でのアルバ  
イトからたくさんのごとを学びました。